

# 資料 1

## 平成26年度（自 平成26年 4月 至 平成27年 3月）事業報告

平成26年度事業計画(平成26年3月20日開催の理事会において承認)に基づき実施した、事業の主な内容は以下のとおりです。

### 1. 特殊健康診断部門

- (1) 平成26年度中の健康診断の実施状況は別紙1のとおりです。昨年度より受診者がやや増えました。法令の改正により、特定化学物質等障害予防規則に関する特殊健康診断の受診者が増加しました。
- (2) 液体クロマトグラフィー分析器を新規購入し、経過年数の長い分析器を更新しました。  
また、分析機器の整備点検マニュアルを作成して職員による日常点検を強化するなど、分析精度の向上に努めました。
- (3) 職員の分析技術向上ために、外部講師を招聘して技術研修を実施しました。また、全国労働衛生団体連合会が主催する総合精度管理調査に参加し、優良な成績を修めるとともに、労働衛生サービス機能評価研修会に参加するなど、職員の分析技術の向上と健診サービス水準の向上に努めました。
- (4) 大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教室とともに産業医の単位取得講座「産業医学研修会」を共催しました。また、当センターにおいて研修医の臨床研修を実施するとともに、同大学学生の公衆衛生学実習を行いました。
- (5) 看護師を1名雇入れ、健診のサービス向上と職員の業務負担の軽減を図りました。

### 2. 作業環境測定部門

- (1) 平成26年度中の作業環境測定の実施状況は別紙2-1のとおりです。作業環境測定は、長期に亘る不景気と同業他社との競争の激化により、実施件数が減少しました。
- (2) 作業環境測定士の有資格者で、測定の実務経験が豊富な職員を登録講習の講師に登用し、講習会の内容の充実と測定技術の継承に努めました。
- (3) 測定精度の向上を図るために、デジタル粉じん計をメーカーによる整備点検に出しました。  
また、測定技術の向上を図るため、日本作業環境測定協会が主催する総合精度管理調査に参加し、

優良な成績を修めました。

(4) 厚生労働省が行なう「化学物質の暴露実態調査」の委託を受け、現場調査を行いました。

### 3. 登録講習部門

(1) 平成26年度中の作業環境測定士登録講習の実施状況は別紙2-2のとおりです。

受講者数は、昨年度から増加傾向にあり、今年度も対前年度比増となりました。

(2) 登録講習、実技基礎講習の開催日数を増やし、受講希望者の利便性を図りました。

(3) 登録講習の開催予定を6ヶ月先までホームページに掲載することにより、受講希望者の利便性を図りました。

(4) 講習内容の充実を図るため、講師を一部入れ替え、労働衛生の分野で実績のある人を採用しました。

### 4. 共通事項

(1) 懸案事項である施設移転を具体的に検討するために「施設移転検討委員会」を設置し、移転について多角的に検討し、具体的な判断資料を提供しました。

(2) 事務所内のコンピューターネットワークシステム(LAN)を再構築するとともに、ルーターを設置してより高いセキュリティレベルのシステムを導入しました。また、Windows XP対策等のために、最新のパソコン3台を購入し、OA化を推進しました。

(3) 第54回近畿産業衛生学会において、職員2名が特殊健康診断に関する研究で論文発表するとともに、作業環境測定に関する研究で大阪医科大と連名で論文発表をしました。

(4) 職員の社会人としての成長を図るため、「若手社員育成研修」「説明技術トレーニング講座」「分りやすい文章表現のトレーニング講座」など、外部講習会に積極的に参加させました。

また、職員の技術力の向上、組織力の強化を図るため、「技術委員会」「マニュアル作成委員会」「OA化検討委員会」を設置し、職員が自主的に業務改善活動をする機会を作りました。

(5) 労働衛生についての指導援助を行うために、当センター所長が、中央労働災害防止協会が主催する衛生管理者養成講習および建設業労働災害防止協会が主催する作業主任者技能講習において講演を行いました。

(6) 相談業務として、厚生労働省が行なう福島原発緊急作業従事者健康相談事業に、昨年から引き続き

参加しました。

(7)日本産業衛生学会研修施設の認定を受け、産業医の研修施設として登録しました。

(8)労働衛生・作業環境測定に関する情報を提供するために、会報「関衛だより」を年2回作成し配布しました。

(9)平成27年3月末日現在における会員数及び口数の増減は別紙3のとおりです。

#### 平成26年度事業報告附属明細書

平成26年度事業報告には、一般社団法人および一般財団法人に関する法律 施行規則第34条 第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しません。

## 平成26年度 健康診断実施状況

## 1 特殊健康診断

( )内 昨年度

(1) 鉛中毒予防規則に関する特殊健康診断	24 人	( 75)
(2) 有機溶剤中毒予防規則に関する特殊健康診断	3,379 人	( 3,472)
(3) 特定化学物質等障害予防規則に関する特殊健康診断	14,356 人	(12,817)

内 訳	カドミウム関係	451 人	( 527)
	酸・アルカリ関係	1,255 人	( 1,385)
	ニッケル化合物関係	4,232 人	( 3,781)
	コバルト化合物関係	3,796 人	( 3,435)
	フッ化水素	672 人	( 523)
	マンガン関係	3,194 人	( 2,925)
	エチルベンゼン	126 人	( — )
	インジウム	198 人	( — )
	その他の物質関係	432 人	( 484)

2 じん肺法に関する特殊健康診断	1,122 人	( 909)
------------------	---------	--------

3 深夜特殊健康診断	2,507 人	( 1,976)
------------	---------	----------

4 その他の健康診断	516 人	( 467)
------------	-------	--------

内 訳	振動障害	17 人	( 18)
	VDT	57 人	( 45)
	有害光線	93 人	( 35)
	放射線	275 人	( 301)
	騒音	74 人	( 68)

## 平成26年度作業環境測定実施状況

( )内 昨年度

1 鉛中毒予防規則に関するもの(気中鉛等)	86 件	( 86)
2 有機溶剤中毒予防規則に関するもの(気中トルエン等)	1,989 件	( 2,187)
3 特定化学物質等障害予防規則に関するもの(気中クロム酸等)	330 件	( 284)
4 粉じん障害防止規則に関するもの(粉じん)	1,899 件	( 1,895)
5 事務所衛生基準規則に関するもの	132 件	( 154)
6 労働安全衛生規則に関するもの(騒音等)	239 件	( 204)
7 上記各物質の受託分析に関するもの	235 件	( 261)
計	4,910 件	( 5,071)

## 平成26年度作業環境測定士登録講習実施状況

## 1 作業環境測定士登録講習

選 択 科 目 ( 第 一 種 )	講習者数	
	粉じん	103 ( 76)
特化物	132 (100)	( )内 昨年度
金属類	75 ( 81)	
有機溶剤	114 (137)	
計	424 (394)	
共通科目(第二種)計	222 (225)	
合 計	646 (619)	

2 再受講者数 14人 ( 23)

3 実技基礎講習者数 262人 (266)

## 会 員 の 現 況

平成27年3月末日現在

会 員 数 95社

会 費 口 数 139口 (143口)

会 員 数 増 減 表

	66 口	40 口	30 口	20 口	15 口	12 口	10 口	5 口	3 口	2 口	1 口	合計
平成25年度末 会員数	0	0	0	0	1	0	0	5	4	2	87	99
平成26年度退会会員数											5	5
平成26年度入会会員数											1	1
平成26年度末 会員数	0	0	0	0	1	0	0	5	4	2	83	95